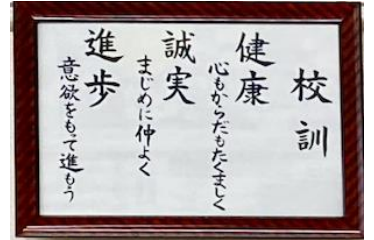




北星の風

白山市立北星中学校
学校だより
特別号
令和6年9月9日

前期学校評価の結果について



7月に実施した、教員アンケート、生徒アンケート、保護者アンケートの結果より、一部を抜粋して状況をお伝えします。

【教員】 a 「あてはまる」 b 「どちらかといえばあてはまる」 a + b が肯定的評価である

	a	b	a + b (昨年比)
① 生徒は、学校で楽しくすごしている	15%	85%	100% (+1%)
② ねらいを明確にした授業を行っている	33%	67%	100% (+4%)
③ 生徒が、いじめられたり、無視されたりすることなく安心して活動できている	21%	75%	96% (±0%)

【生徒】・・・全生徒 a 「あてはまる」 b 「どちらかといえばあてはまる」 a + b が肯定的評価である

	a	b	a + b (昨年比)
①学校は楽しい	53%	42%	95% (+2%)
②授業はわかりやすい	39%	56%	95% (±0%)
③いじめられたり無視されたりすることなく安心して活動できている	75%	25%	100% (+3%)

【保護者】 a 「あてはまる」 b 「どちらかといえばあてはまる」 a + b が肯定的評価である

	a	b	a + b (昨年比)
①お子さんは、学校は楽しいと思っている	32%	54%	86% (±0%)
②お子さんは、授業はわかりやすいと思っている	7%	61%	68% (-1%)
③お子さんは、いじめられたり無視されたりすることなく安心して活動できている	40%	54%	94% (+2%)

<アンケート結果より成果と課題、今後の取り組み>

- 三者の①及び③より、生徒は、概ね楽しく学校に通い、安心して学校生活を送れていることが窺えます。さらに多くの生徒が自信をもって「学校は楽しい」と答えられるよう、学校生活を通して働きかけを行っていきたいと思います。
- 【教員】・【生徒】②は、両者の間で5%の差があります。
わかりやすい授業の工夫については、「ねらいの達成に向けて、生徒が自分の考えをもち、表現できるよう手立てを工夫する」ことを大切にしながら後期も引き続き授業を行っていきます。「生徒が考えたくなる」ことを大切にしながら取り組みます。
- ▲【保護者】②では、【教員】・【生徒】②との肯定的評価に大きく差があります。保護者とも連携して学習への取り組みを行っていく必要があります。

◇全国学力学習状況調査・石川県基礎学力調査の質問紙調査より・・・3年生

a「あてはまる」 b「どちらかといえばあてはまる」 a+bが肯定的評価である

	a	b	a+b (県比較)
①将来の夢や目標をもっていますか	30%	38%	67% (+3%)
②1,2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	27%	58%	85% (+1%)
③1,2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	17%	37%	54% (-7%)
④1,2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	24%	57%	81% (+1%)
⑤家で自分で計画を立てて勉強をしていますか (予習・復習を含む)	18%	42%	60% (+3%)

<成果と課題>

- ①の「将来の夢や目標」に関しては、県と比較して3ポイント高い結果となりました。総合的な学習の時間を中心に自己理解や職業・進路についての学習をより充実させていきます。
- ②の「自分で考え、自分から取り組む」に関しては、各教科で一人ひとりの考えを活かした授業づくりを充実させていきます。
- △ ③の「自分の考えを発表する機会」に関しては、県と比較して7ポイント低い結果となりました。考えたことを根拠や理由などの明確にして、適切に表現できるよう指導を工夫するとともに、生徒の活動を見取り、一人ひとりに応じたサポートをしていきます。
- ④の「自分の考えをまとめる活動」に関しては、級友と学び合う活動を通して深めたり、広げたりしたことを自分の言葉でまとめる場面を設定していきます。
- ⑤の「家で計画を立てて勉強」に関しては、学習の計画性や内容の充実性に課題が残りますので、学年の実態に応じた取り組みを工夫していきます。

2学期以降の重点取組について

学力学習状況調査や前期学校評価の結果の分析に基づいて、2学期から以下の取組を重点化し、改善を進めます。

【1】学習に関する取組

- ①生徒が自分の考えを持ち、表現すること、そして一人ひとりの考えを活かした授業展開を行うことで、授業の分かりやすさにつなげる。
- ②継続的に家庭学習に取り組めるように、家庭学習パワーアップ週間の取り組みを中心に前向きな声かけ、支援を行う。

【2】生活に関する取組

- ①生徒会活動や学校行事、部活動等のあらゆる場面で、生徒が自ら考え、自主的・主体的に取り組むよう支援する。
- ②挨拶運動やいいところみつけ、構成的グループエンカウンター等の活動を通して、生徒相互の関わりを促し、楽しく安心して過ごせる人間関係作りを目指す。